



## CLI ベースのセットアップ プログラムによるスイッチの設定

---

この付録の内容は、次のとおりです。

- [Express Setup 経由での CLI のアクセス, 1 ページ](#)
- [コンソール ポート経由での CLI のアクセス, 2 ページ](#)
- [初期設定情報の入力, 11 ページ](#)

### Express Setup 経由での CLI のアクセス

未設定スイッチ上の CLI にアクセスすることができます。スイッチを Express Setup モードで設定し、スイッチのイーサネット ポートを PC またはワークステーションのイーサネット ポートに接続します。スイッチのクイック スタート ガイドに記載されている手順に従ってスイッチの電源を投入し、Express Setup を使用できるようにします。

スイッチが Express Setup モードの状態では、IP アドレス 10.0.0.1 を入力して Telnet セッションを開始します。次に、**setup** ユーザ EXEC コマンドを入力し、[IP 設定, \(11 ページ\)](#) および [セットアップ プログラムの完了, \(11 ページ\)](#) に記載されている情報を入力します。

スイッチの設定情報を入力した後、**write memory** 特権 EXEC コマンドを使用して、フラッシュメモリに設定を保存します。



---

(注) Express Setup モードでは、**write memory** コマンドを入力するまで、スイッチ上で IP アドレス 10.0.0.1 が有効です。**write memory** コマンドを入力すると、Telnet 接続が切断されます。

---

## コンソールポート経由での CLI のアクセス

スイッチの RJ-45 コンソールポートまたは USB コンソールポートを PC またはワークステーションに接続し、端末エミュレーションソフトウェアを通じてスイッチにアクセスすることにより、設定済みスイッチ、または未設定のスイッチ上で CLI にアクセスできます。



(注) スイッチをスタックしている場合は、スタック内の 1 つのスイッチのコンソールポートに接続します。任意のメンバスイッチから、スタック全体の初期設定を行うことができます。

## RJ-45 コンソールポートの接続

### 手順の概要

1. RJ-45/DB-9 アダプタ ケーブルを PC の 9 ピンシリアルポートに接続します。ケーブルのもう一方の端をスイッチのコンソールポートに接続します。
2. PC または端末上で端末エミュレーションソフトウェアを起動します。このプログラム（その多くは、HyperTerminal や ProcommPlus などの PC アプリケーション）は、使用可能な PC または端末とスイッチの間の通信を確立します。
3. コンソールポートのデフォルト特性に合わせて、PC または端末のボーレートおよびキャラクターフォーマットを次のように設定します。
4. スイッチのクイック スタート ガイドを参照して、スイッチの電源を入れます。
5. PC または端末にブートローダ シーケンスが表示されます。Enter を押してセットアッププロンプトを表示します。[初期設定情報の入力](#)、(11 ページ) の手順を実行します。

### 手順の詳細

- 
- ステップ 1** RJ-45/DB-9 アダプタ ケーブルを PC の 9 ピンシリアルポートに接続します。ケーブルのもう一方の端をスイッチのコンソールポートに接続します。
- ステップ 2** PC または端末上で端末エミュレーションソフトウェアを起動します。このプログラム（その多くは、HyperTerminal や ProcommPlus などの PC アプリケーション）は、使用可能な PC または端末とスイッチの間の通信を確立します。
- ステップ 3** コンソールポートのデフォルト特性に合わせて、PC または端末のボーレートおよびキャラクターフォーマットを次のように設定します。
- 9600 ボー
  - 8 データ ビット
  - 1 ストップ ビット

- パリティなし
- なし (フロー制御)

**ステップ 4** スイッチのクイック スタート ガイドを参照して、スイッチの電源を入れます。

**ステップ 5** PC または端末にブートローダ シーケンスが表示されます。Enter を押してセットアップ プロンプトを表示します。初期設定情報の入力、(11 ページ) の手順を実行します。

## USB コンソール ポートの接続

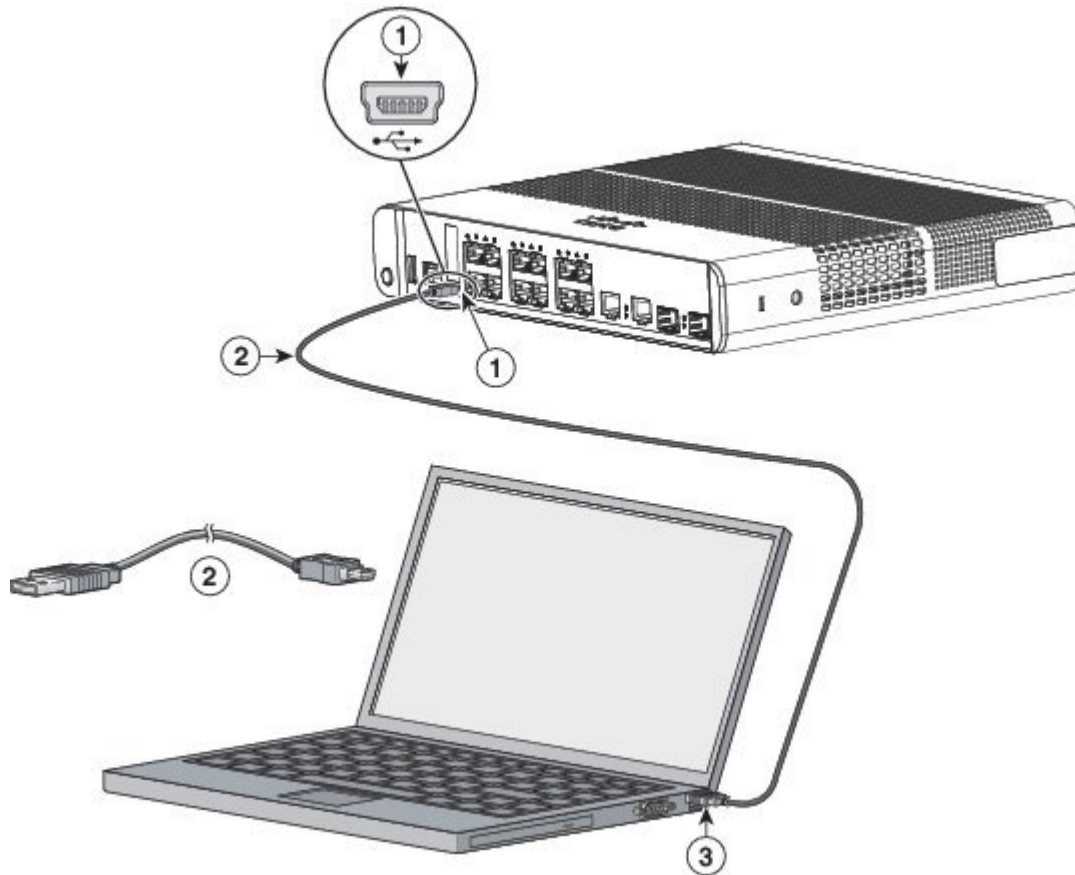
### 手順の概要

1. スイッチの USB コンソール ポートを Windows ベースの PC に最初に接続するときは、USB ドライバをインストールします。Cisco Microsoft Windows USB デバイス ドライバのインストール、(5 ページ) を参照してください。
2. USB ケーブルを PC の USB ポートに接続します。ケーブルのもう一方の端をスイッチのミニ B (5 ピン コネクタ) USB コンソール ポートに接続します。
3. PC または端末上で端末エミュレーションソフトウェアを起動します。このプログラム (その多くは、HyperTerminal や ProcommPlus などの PC アプリケーション) は、使用可能な PC または端末とスイッチの間の通信を確立します。
4. コンソール ポートのデフォルト特性に合わせて、PC または端末のボーレートおよびキャラクタフォーマットを次のように設定します。
5. スイッチのクイック スタート ガイドを参照して、スイッチの電源を入れます。
6. PC または端末にブートローダ シーケンスが表示されます。Enter を押してセットアップ プロンプトを表示します。セットアッププログラムの手順に従います。

## 手順の詳細

**ステップ 1** スイッチの USB コンソールポートを Windows ベースの PC に最初に接続するときは、USB ドライバをインストールします。Cisco Microsoft Windows USB デバイス ドライバのインストール、(5 ページ) を参照してください。

図 1: スイッチへの USB コンソールケーブルの接続



353771

1	USB コンソールポート (5 ピン ミニタイプ B)	3	ラップトップ コンピュータ上の USB タイプ A 接続
2	USB タイプ A から 5 ピン ミニタイプ B へのケーブル		

- ステップ 2** USB ケーブルを PC の USB ポートに接続します。ケーブルのもう一方の端をスイッチのミニ B (5 ピンコネクタ) USB コンソール ポートに接続します。
- ステップ 3** PC または端末上で端末エミュレーション ソフトウェアを起動します。このプログラム (その多くは、HyperTerminal や ProcommPlus などの PC アプリケーション) は、使用可能な PC または端末とスイッチの間の通信を確立します。
- ステップ 4** コンソール ポートのデフォルト特性に合わせて、PC または端末のボーレートおよびキャラクタ フォーマットを次のように設定します。
- 9600 ボー
  - 8 データ ビット
  - 1 ストップ ビット
  - パリティなし
  - なし (フロー制御)
- ステップ 5** スイッチのクイック スタート ガイドを参照して、スイッチの電源を入れます。
- ステップ 6** PC または端末にブートローダ シーケンスが表示されます。Enter を押してセットアップ プロンプトを表示します。セットアップ プログラムの手順に従います。
- 

## Cisco Microsoft Windows USB デバイス ドライバのインストール

Microsoft Windows ベースの PC をスイッチの USB コンソール ポートに最初に接続するときに、USB デバイス ドライバをインストールする必要があります。

- [Cisco Microsoft Windows XP USB ドライバのインストール](#)
- [Cisco Microsoft Windows 2000 USB ドライバのインストール](#)
- [Cisco Microsoft Windows Vista および Windows 7 USB ドライバのインストール](#)

## Cisco Microsoft Windows XP USB ドライバのインストール

### 手順の概要

1. Cisco.com の Web サイトから Cisco USB コンソール ドライバ ファイルを入手し、解凍します。
2. 32 ビット Windows XP を使用している場合は、Windows\_32 フォルダ内の setup.exe ファイルをダブルクリックします。64 ビット Windows XP を使用している場合は、Windows\_64 フォルダ内の setup(x64).exe ファイルをダブルクリックします。
3. Cisco Virtual Com InstallShield Wizard が起動します。
4. [Ready to Install the Program] ウィンドウが表示されます。[Install] をクリックします。
5. [InstallShield Wizard Completed] ウィンドウが表示されます。[Finish] をクリックします。
6. USB ケーブルを、PC とスイッチのコンソール ポートに接続します。USB コンソール ポートの LED がグリーンで点灯し、Found New Hardware ウィザードが表示されます。指示に従って、ドライバのインストールを完了します。

### 手順の詳細

---

**ステップ 1** Cisco.com の Web サイトから Cisco USB コンソール ドライバ ファイルを入手し、解凍します。

(注) スイッチ ソフトウェアのダウンロード用の Cisco.com サイトから、ドライバ ファイルをダウンロードできます。

**ステップ 2** 32 ビット Windows XP を使用している場合は、Windows\_32 フォルダ内の setup.exe ファイルをダブルクリックします。64 ビット Windows XP を使用している場合は、Windows\_64 フォルダ内の setup(x64).exe ファイルをダブルクリックします。

**ステップ 3** Cisco Virtual Com InstallShield Wizard が起動します。

**ステップ 4** [Ready to Install the Program] ウィンドウが表示されます。[Install] をクリックします。

**ステップ 5** [InstallShield Wizard Completed] ウィンドウが表示されます。[Finish] をクリックします。

**ステップ 6** USB ケーブルを、PC とスイッチのコンソール ポートに接続します。USB コンソール ポートの LED がグリーンで点灯し、Found New Hardware ウィザードが表示されます。指示に従って、ドライバのインストールを完了します。

---

## Cisco Microsoft Windows 2000 USB ドライバのインストール

### 手順の概要

1. Cisco.com の Web サイトから Cisco USB コンソール ドライバファイル入手し、解凍します。
2. setup.exe ファイルをダブルクリックします。
3. Cisco Virtual Com InstallShield Wizard が起動します。 [Next] をクリックします。
4. [Ready to Install the Program] ウィンドウが表示されます。 [Install] をクリックします。
5. [InstallShield Wizard Completed] ウィンドウが表示されます。 [Finish] をクリックします。
6. USB ケーブルを、PC とスイッチのコンソール ポートに接続します。 USB コンソール ポートの LED がグリーンで点灯し、Found New Hardware ウィザードが表示されます。指示に従って、ドライバのインストールを完了します。

### 手順の詳細

- 
- ステップ 1** Cisco.com の Web サイトから Cisco USB コンソール ドライバファイル入手し、解凍します。
- (注) スイッチ ソフトウェアのダウンロード用の Cisco.com サイトから、ドライバファイルをダウンロードできます。
- ステップ 2** setup.exe ファイルをダブルクリックします。
- ステップ 3** Cisco Virtual Com InstallShield Wizard が起動します。 [Next] をクリックします。
- ステップ 4** [Ready to Install the Program] ウィンドウが表示されます。 [Install] をクリックします。
- ステップ 5** [InstallShield Wizard Completed] ウィンドウが表示されます。 [Finish] をクリックします。
- ステップ 6** USB ケーブルを、PC とスイッチのコンソール ポートに接続します。 USB コンソール ポートの LED がグリーンで点灯し、Found New Hardware ウィザードが表示されます。指示に従って、ドライバのインストールを完了します。
-

## Cisco Microsoft Windows Vista および Windows 7 USB ドライバのインストール

### 手順の概要

1. Cisco.com の Web サイトから Cisco USB コンソール ドライバ ファイル を入手し、解凍します。
2. 32 ビット Windows Vista または Windows 7 を使用している場合は、Windows\_32 フォルダの setup.exe ファイルをダブルクリックします。64 ビット Windows Vista または Windows 7 を使用している場合は、Windows\_64 フォルダの setup(x64).exe ファイルをダブルクリックします。
3. Cisco Virtual Com InstallShield Wizard が起動します。[Next] をクリックします。
4. [Ready to Install the Program] ウィンドウが表示されます。[Install] をクリックします。
5. [InstallShield Wizard Completed] ウィンドウが表示されます。[Finish] をクリックします。
6. USB ケーブルを、PC とスイッチのコンソール ポートに接続します。USB コンソール ポートの LED がグリーンで点灯し、Found New Hardware ウィザードが表示されます。指示に従って、ドライバのインストールを完了します。

### 手順の詳細

- 
- ステップ 1** Cisco.com の Web サイトから Cisco USB コンソール ドライバ ファイル を入手し、解凍します。
- (注) スイッチ ソフトウェアのダウンロード用の Cisco.com サイトから、ドライバ ファイルをダウンロードできます。
- ステップ 2** 32 ビット Windows Vista または Windows 7 を使用している場合は、Windows\_32 フォルダの setup.exe ファイルをダブルクリックします。64 ビット Windows Vista または Windows 7 を使用している場合は、Windows\_64 フォルダの setup(x64).exe ファイルをダブルクリックします。
- ステップ 3** Cisco Virtual Com InstallShield Wizard が起動します。[Next] をクリックします。
- ステップ 4** [Ready to Install the Program] ウィンドウが表示されます。[Install] をクリックします。
- (注) User Account Control 警告が表示された場合は、[Allow - I trust this program] をクリックして先に進みます。
- ステップ 5** [InstallShield Wizard Completed] ウィンドウが表示されます。[Finish] をクリックします。
- ステップ 6** USB ケーブルを、PC とスイッチのコンソール ポートに接続します。USB コンソール ポートの LED がグリーンで点灯し、Found New Hardware ウィザードが表示されます。指示に従って、ドライバのインストールを完了します。
- 

## Cisco Microsoft Windows USB ドライバのアンインストール

### Cisco Microsoft Windows XP および 2000 USB ドライバのアンインストール

Windows の Add or Remove Programs ユーティリティ、または setup.exe ファイルを使用します。



## Setup.exe プログラムの使用

### はじめる前に

ドライバをアンインストールする前に、スイッチとコンソール端末を切り離します。

### 手順の概要

1. 32 ビット Windows の場合は setup.exe を、64 ビット Windows の場合は setup(x64).exe を実行します。[Next] をクリックします。
2. Cisco Virtual Com の InstallShield Wizard が表示されます。[Next] をクリックします。
3. [Program Maintenance] ウィンドウが表示されたら、[Remove] オプション ボタンを選択します。[Next] をクリックします。
4. [Remove the Program] ウィンドウが表示されたら、[Remove] をクリックします。
5. [InstallShield Wizard Completed] ウィンドウが表示されたら、[Finish] をクリックします。

### 手順の詳細

- 
- ステップ 1** 32 ビット Windows の場合は setup.exe を、64 ビット Windows の場合は setup(x64).exe を実行します。[Next] をクリックします。
- ステップ 2** Cisco Virtual Com の InstallShield Wizard が表示されます。[Next] をクリックします。
- ステップ 3** [Program Maintenance] ウィンドウが表示されたら、[Remove] オプション ボタンを選択します。[Next] をクリックします。
- ステップ 4** [Remove the Program] ウィンドウが表示されたら、[Remove] をクリックします。
- ステップ 5** [InstallShield Wizard Completed] ウィンドウが表示されたら、[Finish] をクリックします。
- 

## Add or Remove Programs ユーティリティの使用

### はじめる前に

ドライバをアンインストールする前に、スイッチとコンソール端末を切り離します。

### 手順の概要

1. [Start] > [Control Panel] > [Add or Remove Programs] の順にクリックします。
2. [Cisco Virtual Com] までスクロールして [Remove] をクリックします。
3. [Program Maintenance] ウィンドウが表示されたら、[Remove] オプション ボタンを選択します。[Next] をクリックします。

## 手順の詳細

---

- ステップ 1** [Start] > [Control Panel] > [Add or Remove Programs] の順にクリックします。
- ステップ 2** [Cisco Virtual Com] までスクロールして [Remove] をクリックします。
- ステップ 3** [Program Maintenance] ウィンドウが表示されたら、[Remove] オプション ボタンを選択します。 [Next] をクリックします。
- 

## Cisco Microsoft Windows Vista および Windows 7 USB ドライバのアンインストール

### はじめる前に

ドライバをアンインストールする前に、スイッチとコンソール端末を切り離します。

## 手順の概要

1. 32 ビット Windows の場合は setup.exe を、64 ビット Windows の場合は setup(x64).exe を実行します。 [Next] をクリックします。
2. Cisco Virtual Com の InstallShield Wizard が表示されます。 [Next] をクリックします。
3. [Program Maintenance] ウィンドウが表示されたら、[Remove] オプション ボタンを選択します。 [Next] をクリックします。
4. [Remove the Program] ウィンドウが表示されたら、[Remove] をクリックします。
5. [InstallShield Wizard Completed] ウィンドウが表示されたら、[Finish] をクリックします。

## 手順の詳細

---

- ステップ 1** 32 ビット Windows の場合は setup.exe を、64 ビット Windows の場合は setup(x64).exe を実行します。 [Next] をクリックします。
- ステップ 2** Cisco Virtual Com の InstallShield Wizard が表示されます。 [Next] をクリックします。
- ステップ 3** [Program Maintenance] ウィンドウが表示されたら、[Remove] オプション ボタンを選択します。 [Next] をクリックします。
- ステップ 4** [Remove the Program] ウィンドウが表示されたら、[Remove] をクリックします。
- (注) User Account Control 警告が表示された場合は、[Allow - I trust this program] をクリックして先に進みます。
- ステップ 5** [InstallShield Wizard Completed] ウィンドウが表示されたら、[Finish] をクリックします。
-

## 初期設定情報の入力

スイッチを設定するには、セットアッププログラムを完了する必要があります。セットアッププログラムは、スイッチの電源がオンになると自動的に実行されます。スイッチがローカルルータやインターネットと通信するのに必要な IP アドレスやその他の設定情報を割り当てる必要があります。これらの情報は、スイッチの設定や管理にデバイスマネージャまたは Cisco Network Assistant を使用する場合にも必要です。

## IP 設定

セットアッププログラムを起動する前に、ネットワーク管理者から次の情報を入手しておきます。

- スwitchの IP アドレス
- サブネット マスク (IP ネットマスク)
- デフォルト ゲートウェイ (ルータ)
- イネーブル シークレット パスワード
- イネーブル パスワード
- Telnet パスワード

## セットアッププログラムの完了

スイッチをスタックしていて、スタック内の各スイッチに複数のコンソールが接続してある場合は、最初に Enter を押したコンソールに初期設定ダイアログが表示されます。

## 手順の概要

1. 最初の 2 つのプロンプトで **Yes** を入力します。
2. スイッチのホスト名を入力し、**Return** を押します。
3. イネーブル シークレット パスワードを入力し、**Return** を押します。
4. イネーブル パスワードを入力し、**Return** を押します。
5. 仮想端末 (Telnet) パスワードを入力し、**Return** を押します。
6. 国コードを設定する場合は、**yes** を入力し、**Return** キーを押します。
7. 国コードを入力し、**Return** キーを押します。
8. (任意) プロンプトに従って、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) を設定します。後から、CLI、Device Manager、または Network Assistant アプリケーションを使用して SNMP を設定することもできます。SNMP を後で設定する場合は、**no** を入力します。
9. 管理ネットワークに接続するインターフェイスの名前 (物理インターフェイスまたは VLAN 名) を入力して、**Return** を押します。このリリースでは、インターフェイス名には必ず **vlan1** を使用してください。
10. インターフェイスを設定するために、スイッチの IP アドレスとサブネット マスクを入力し、**Return** を押します。次に示されている IP アドレスとサブネット マスクは単なる例です。
11. **Y** を入力して、スイッチをクラスタ コマンド スイッチとして設定します。**N** を入力すると、メンバスイッチまたはスタンドアロン スイッチとして設定されます。
12. 表示される選択肢のいずれかを選択して、**Return** を押します。

## 手順の詳細

**ステップ 1** 最初の 2 つのプロンプトで **Yes** を入力します。

```
Would you like to enter the initial configuration dialog? [yes/no]: yes
```

```
At any point you may enter a question mark '?' for help.  
Use ctrl-c to abort configuration dialog at any prompt.  
Default settings are in square brackets '['].
```

```
Basic management setup configures only enough connectivity  
for management of the system, extended setup will ask you  
to configure each interface on the system.
```

```
Would you like to enter basic management setup? [yes/no]: yes
```

**ステップ 2** スイッチのホスト名を入力し、**Return** を押します。

ホスト名の文字数は、コマンドスイッチでは 28 文字、メンバスイッチでは 31 文字に制限されています。どのスイッチでも、ホスト名の最終文字として **-n** (**n** は数字) を使用しないでください。

```
Enter host name [Switch]: host_name
```

- ステップ 3** イネーブル シークレット パスワードを入力し、**Return** を押します。  
このパスワードは 1 ～ 25 文字の英数字で指定できます。先頭の文字を数字にしてもかまいません。大文字と小文字が区別されます。スペースも使えますが、先頭のスペースは無視されます。シークレットパスワードは暗号化され、イネーブルパスワードはプレーンテキストです。

```
Enter enable secret: secret_password
```

- ステップ 4** イネーブルパスワードを入力し、**Return** を押します。

```
Enter enable password: enable_password
```

- ステップ 5** 仮想端末 (Telnet) パスワードを入力し、**Return** を押します。

このパスワードは 1 ～ 25 文字の英数字で指定できます。大文字と小文字が区別されます。スペースも使えますが、先頭のスペースは無視されます。

```
Enter virtual terminal password: terminal-password
```

- ステップ 6** 国コードを設定する場合は、**yes** を入力し、**Return** キーを押します。

```
Do you want to configure country code? [no]: yes
```

- ステップ 7** 国コードを入力し、**Return** キーを押します。

```
Enter the country code[US]: US
```

- ステップ 8** (任意) プロンプトに従って、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) を設定します。後から、CLI、Device Manager、または Network Assistant アプリケーションを使用して SNMP を設定することもできます。SNMP を後で設定する場合は、**no** を入力します。

```
Configure SNMP Network Management? [no]: no
```

- ステップ 9** 管理ネットワークに接続するインターフェイスの名前 (物理インターフェイスまたは VLAN 名) を入力して、**Return** を押します。このリリースでは、インターフェイス名には必ず **vlan1** を使用してください。

```
Enter interface name used to connect to the  
management network from the above interface summary: vlan1
```

- ステップ 10** インターフェイスを設定するために、スイッチの IP アドレスとサブネットマスクを入力し、**Return** を押します。次に示されている IP アドレスとサブネットマスクは単なる例です。

```
Configuring interface vlan1:  
Configure IP on this interface? [yes]: yes  
IP address for this interface: 10.4.120.106  
Subnet mask for this interface [255.0.0.0]: 255.0.0.0
```

**ステップ 11** **Y**を入力して、スイッチをクラスタ コマンド スイッチとして設定します。**N**を入力すると、メンバ スイッチまたはスタンドアロン スイッチとして設定されます。

**N**を入力した場合は、Network Assistant GUI に候補スイッチとして表示されます。後から、CLI、Device Manager、または Network Assistant アプリケーションを使用して、スイッチをコマンド スイッチとして設定することもできます。後で設定する場合は、**no** と入力します。

```
Would you like to enable as a cluster command switch? [yes/no]: no
```

以上でスイッチの初期設定が完了しました。以下に、設定の出力例を示します。

The following configuration command script was created:

```
hostname switch1
enable secret 5 $1$U1q8$D1A/OiaEbl90WcBPd9cOn1
enable password enable_password
line vty 0 15
password terminal-password
no snmp-server
!
no ip routing

!
interface Vlan1
no shutdown
ip address 10.4.120.106 255.0.0.0
!
interface GigabitEthernet1/0/1
!
interface GigabitEthernet1/0/2

interface GigabitEthernet1/0/3
!
...<output abbreviated>
!

interface GigabitEthernet1/0/23
!
end
```

**ステップ 12** 表示される選択肢のいずれかを選択して、Return を押します。

```
[0] Go to the IOS command prompt without saving this config.
```

```
[1] Return back to the setup without saving this config.
```

```
[2] Save this configuration to nvram and exit.
```

Choose (2) to save the configuration to NVRAM to use it the next time the switch reboots.

```
Enter your selection [2]: 2
```

これで、スイッチはこのデフォルト設定を実行します。この設定を変更するか、他の管理作業を実行する場合は、[管理オプション](#)を参照してください。

---

■ セットアッププログラムの完了